

ノーマライゼーションプラン金沢2021（第5次金沢市障害者計画）骨子案について
パブリックコメントでのご意見と本市の考え方（回答）

- 1 募集期間 令和2年12月21日（月）～令和3年1月19日（火）
- 2 募集方法 メール、郵便、ファクシミリ又は直接担当課の窓口へ持参
- 3 意見 意見者数 3名、意見数 6件

No.	ご意見の概要	本市の考え方
I ともに生きる		
1	「HELPカード」を全国で主流になっている「ヘルプカード」に切り替えて「ヘルプマーク・ヘルプカード」として周知してほしい。SDGsの目標に合うように、危機管理・消防・医療・高齢者に関する部署と連携して、障害のある方を含むすべての援助や配慮が必要な方がすぐに使えるように切り替えるべきである。	HELPカードは、石川県肢体不自由児協会が、全国に先駆け考案したもので、平成22年度から、市と協会が連携して普及啓発に取り組み、ヘルプマークを加えたデザインとともにすでに市民に定着しております。また、対象者も限定されていることから、カード様式や交付対象等の制度を変更する予定はなく、引き続き、HELPカードの普及と周知啓発に努めてまいります。
2	たとえば災害時要援護者登録をしている視覚障害者に対する安否確認と安全に避難するためのマニュアルの策定及び訓練など、各種災害時における視覚障害者等への迅速な対応について、視覚障害者への研修会を行っての聞き取りや調査を実施し、金沢市の基本方針を示していただきたい。	避難行動要支援者名簿を活用し、地域において、緊急時の連絡先、地域支援者、避難所、避難方法などについて、避難行動要支援者ごとに具体的に記載した個別避難支援計画の作成を推進することで、災害時の迅速かつ的確な支援が行われる体制の構築に努めてまいります。
3	障害者を受け入れている事業所・施設の経営状況や職員確保は年々厳しさが増している。障害者への直接的な対応もさることながら、障害者施設の経営等への支援・指導・助言についても、もっとプランに盛り込んでいただきたい。	貴重なご意見であり、プランへの反映を検討してまいります。

IV 豊かに育つ		
4	<p>障害のある児童の中には発達障害の診断があっても発達検査の結果から療育手帳や精神障害者福祉手帳の対象外になる児童生徒もいる。</p> <p>放課後等デイサービスの受給者証は受給できても、その他の様々な支援を受けることができず日常生活や園・学校生活で困ることが多い。</p> <p>このことから「療育手帳・精神障害者福祉手帳に該当しない発達障害のある児童生徒」も支援の対象に加えて明記すべきである。</p>	<p>貴重なご意見であり、プランへの反映を検討してまいります。</p>

IX すこやかに暮らす（V 学ぶ、X 知る、VII 使う）		
5	<p>学業不振や不適應などから後になって知的障害や発達障害がわかった方、事故や病気の後遺症で障害が残った方とその家族が不安になることのないよう医療と連携しながら心のケアと支援に関する情報提供を並行して行ってほしい。</p>	<p>貴重なご意見であり、プランへの反映を検討してまいります。</p>

共通		
6	<p>スマホや電子マネーなど高度な電子機器類活用が急速に生活に浸透してきている。しかし、障害者（特に知的障害者）にとっては扱いが難しいことから、むしろ生活がしづらくなっているのではないかと。良案があるかわからないが、このプランの中で何らかの対応や検討を望みたい。</p>	<p>今後、関係課とも連携し、研究させていただきます。</p>